

ページ・サイズによる SQL Anywhere データベースの カラム数の変化について

Sybase SQL Anywhere では、データベースのページ・サイズと、テーブルで定義可能なカラム数の間に関係があります。この関係は、次の表のようになります。

ページサイズ (バイト単位)	テーブルの概算の カラム数
1024	240
2048	490
4096	999

PowerBuilder を使用して Sybase SQL Anywhere データベースを作成している場合は、デフォルトのページ・サイズである 2048 バイトが使用されます。この場合は、テーブルで定義可能なカラム数は約 490 になります。ページ・サイズで定義されるカラム数を超えると、CREATE TABLE または ALTER TABLE で "Illegal Database" というエラーが発生します。

カラム数が多いテーブルを定義する場合は、SQL Anywhere の DBINIT.EXE コマンドを使用して、PowerBuilder 外部でデータベースを定義する必要があります。ページ・サイズを指定するには、"-p" スイッチを使用します。カラム数の多いデータベースの場合は、ページ・サイズとして 4096 バイトを指定することをお勧めします。

DBINIT.EXE については、PowerBuilder に付属の SQL Anywhere のマニュアルを参照してください。このコマンドを実行するには、Windows のプログラム・マネージャの [File] - [Run] を使用するか、PowerBuilder に付属の DBISQL.EXE プログラムを使用します。

bigdb という名前のデータベースを、4096 バイトのページ・サイズで *c:¥database¥bigdb* ディレクトリで定義するには、次のコマンドを使用します。

```
DBINIT -p 4096 c:¥database¥bigdb
```

データベースの作成後は、そのデータベース用のプロファイルを PowerBuilder で定義する必要があります。